



# 地区支部だより

滋賀県看護協会第1地区支部  
支部長 北川 有紀  
〒520-2192 大津市瀬田月輪  
滋賀医科大学医学部附属病院



## 2025年度 第1地区メンバー



支部長 北川 有紀  
滋賀医科大学  
医学部附属病院



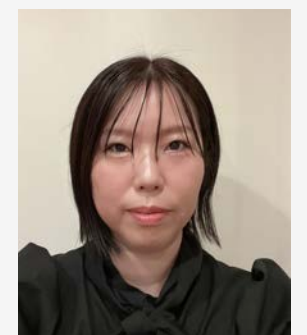
副支部長 齊藤 智美  
琵琶湖大橋病院



書記 板谷 理絵  
大津赤十字志賀病院



会計 岡 野理子  
膳所すこやか相談所



広報 堀切 利香  
JCHO 滋賀病院

## 日々、頑張る看護師さんへエール ～癒しのケア・心のケア～ 講師 田村 祐樹 先生

第1回地区支部集会および研修会 2025年3月22日 市立大津市民病院

滋賀県看護協会では、重点事業の一つである「地域に必要な看護職の確保・定着に向けた多様な働き方の推進」に向けた地区支部活動を推進しています。第1地区支部では、看護師不足の中、現場で頑張る看護職の方々が少しでも元気な気持ちになれるような研修を企画し、看護師定着を目指したいと考えました。

そこで今回「日々頑張る看護師さんへエール～癒しのケア、心のケア～」と題し、滋賀県の緩和ケアを中心にご活躍されている田村祐樹（たむらひろき）先生をお招きして、第1地区支部・看護ネット共催の研修会を開催しました。田村先生は病院や在宅において、がんの初期から終末まで幅広くがん患者とその家族に対し、サイモントン療法という「安定した感情を維持し、自己治癒力、人生の質（QOL）を高め、治療が良い方向へ向かうことをサポートする」ヒーリングプログラムを実践しておられます。ケアを受ける人のみならず、サポーターについても、心理面、身体面、社会面、スピリチュアルな面も含め、全人的に癒されている必要があり、癒しにおいて肯定的な感情は大切なものです。

講義は先生の話術に引き込まれ、楽しく笑いもあり、日々の自分の心の状態を考えるワークからペアでの意見交換を行い、肯定的なフィードバックを実践するなど癒しの場となりました。看護職の私たちがまずは自分を癒し、自分が満たされた状態で持ち味を発揮することが自然に出来ると、周囲に優しく相手を大切にできると学びました。あっという間の90分間の研修で、満足度のアンケート結果は「非常に満足・やや満足」の回答が100%で、研修で題されているように参加された皆さんにたくさんのエールが届いたことを実感しました。

## 誰もが生き生き働き続ける職場づくりのために

### 講師 光岡 由紀子 先生



第1地区支部集会および第一回研修会 2025年7月12日 滋賀医科大学医学部附属病院

2025年3月に開催した研修アンケート項目「今後、受講したい研修のテーマ」の中で「メンタルヘルス」に関するご意見が多くあったため、今回の研修のテーマを「誰もが生き生き働ける職場環境づくりのために」としました。講師には、滋賀医科大学医学部附属病院 精神看護専門看護師 光岡 由紀子先生をお招きして、第1地区支部・看護ネット共催の研修会を開催しました。

講義では、とても興味深いお話をたくさん聴くことができ、また実践に生かすためのヒントがたくさんありました。その中でも印象に残った内容は、ラインケアについてのお話があり職場環境の改善や相談の対応がケアの中に含まれており「気持ちの話は気持ちで返す」共感と寄り添いが大事であり、心の洗面器が軽くなることで現実が目が向くようになるとお話されていました。講義終了後には、受講した皆様から日頃から感じている職場環境についてやメンタルヘルスの悩みなど、光岡先生に直接アドバイスをいただく事ができました。実践的で具体的なお話だったため知識を持ち帰り職場に生かす事ができる内容でした。

研修参加人数52名、アンケート回収率92.3%あり、多くの方が参加しアンケートにも回答いただけました。アンケート内容から「生き生き働くための職場づくりのためにラインケアを実践する」「自身とスタッフのメンタルケアに役立つと思った」

「明日からも生かせる内容だった」など講義から実践に生かしていく意見が多くありました。今後も看護職員のための研修を企画していきたいと考えております。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



# 委員のお仕事紹介：大津市保健所地域医療政策課 友岡保健師

## 1. 多職種連携の取組みと拠点訪問看護ステーションについて

大津市では、医療と介護の両方を必要とする市民が住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることができるよう、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築【①日常の療養支援（在宅療養）、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り（在宅看取り）】を推進してきました。平成27年度より、市内保健福祉7ブロックごとに、医師会や介護支援専門員協会等の医療・介護関係団体より推薦いただいた専門職の皆様とともに、在宅療養、在宅看取りについての市民向け啓発講座や従事者向け研修を実施してきました。

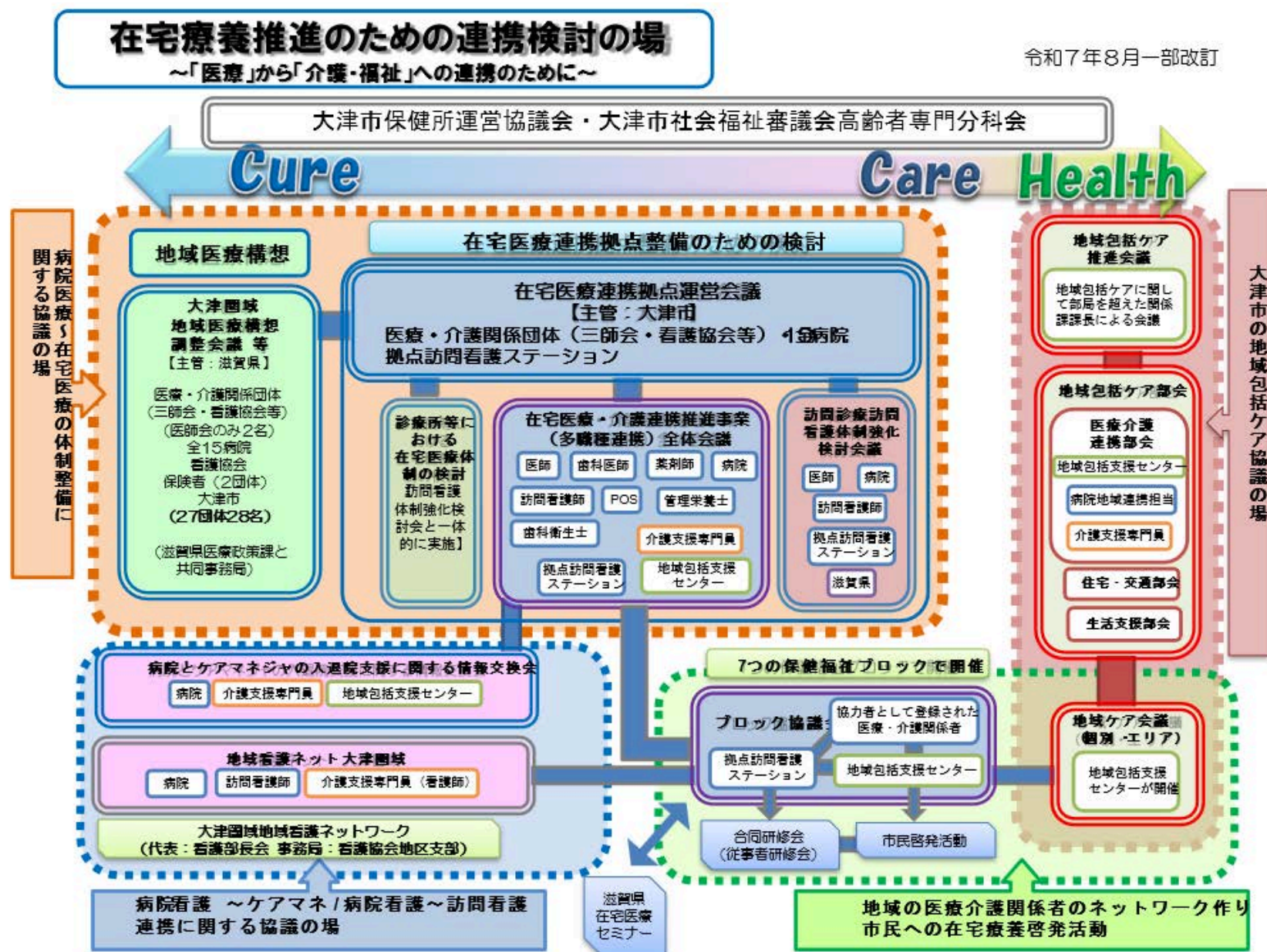
今年度からは団体からの推薦を廃止し、市内に勤務する医療・介護従事者を対象としてブロック活動への協力者を募集したところ、180名を超える申込みがありました。7ブロックごとに、あんしん長寿相談所（地域包括支援センター）や拠点訪問看護ステーション、協力者として登録いただいた多職種の皆様と一緒に、地域課題に応じた在宅療養や看取りに関する啓発講座や地域資源マップづくり等に取り組んでいます。

また、在宅医療と介護の連携拠点として3か所の訪問看護ステーション（琵琶湖大橋病院訪問看護ステーション、訪問看護ステーションヴィーナズ24、JCHO滋賀病院附属訪問看護ステーション）に事業を委託し、医療・介護専門職や関係機関からの相談対応、訪問看護の機能強化のための小規模ステーションへの支援、多職種合同研修会の企画運営等を実施しています。医療と介護をつなぐ要として、拠点訪問看護ステーションの看護師が日々活躍していることを、この機会に知っていただき連携活用いただければと思います。

## 2. 看護ネットにおける地域包括ケアの推進について

統括保健師と地域医療政策課の保健師である私が、看護ネットの活動に参画しています。看護ネットで在宅療養推進のための協議の場についてまとめたものが以下の図となります。今年度は、入退院支援として、「病院とケアマネジャーの入退院支援の手引き」の改訂作業を進めています。在宅医療に携わる行政保健師として、病院や介護分野で活動する看護職と看護連携する機会に恵まれ、とても嬉しく心強く思っています。

今後ますます顔の見える関係を築きながら、一緒に地域包括ケアを推進していけると幸いです。



※市内7ブロックにおける在宅療養や看取りに関する市民啓発や従事者研修会において、企画や講師等でご協力いただける看護職の皆様を募集中です。詳しくは、大津市保健所地域医療政策課ホームページ (<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/021/1449/o/69568.html>) をご参照ください。

お知らせ：第1地区支部、看護ネット共催研修

「地域看護力向上のためにできること」をテーマに研修会を1月24日に開催します。振るってご参加ください。